



2018-19年度所信表明 会長 川瀬隆史



2018-19年度の会長を務めさせていただきます川瀬でございます。よろしくお願いいいたします。前年度会長水本さん、幹事の深堀さんにはお世話になりました。ありがとうございます。新しい年度になり、理事の皆様にはいろいろな役目を背負っていただきます。一年間一緒に西RCを盛り上げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいいたします。

さて、今年の7月は色々な話題が豊富で、中でも喜ばしかったのが、世界文化遺産の登録が決まったこと。ワールドカップのサッカーも負けましたがいい試合でした。それと私の前途を危ぶむような台風7号が来て、初仕事が例会休会を決めることで、悪天候からのスタートでしたが、「雨降って地固まる」ということで、これから頑張っていきたいと思っております。私が会長になりました一番心掛けたいことは、健康維持でございます。私は、今年の9月で満78歳になります。健康を害しては皆様にご迷惑をかけることとなりますので、役割を果たすため、まずは自分の健康を維持したいと思っております。会長就任に当たり、どうしたらいいのかと色々調べ、ロータリーの目的と言うのが書いてあるものを読んだりしました。その中に「知り合いを広めることによって、奉仕の機会とすること」とあり、これは非常に分かりやすいなと思っております。ただ分かりにくいのは、「奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的なネットワークを通じて国際理解、親善、平和を推進すること」とあることです。この奉仕の理念がなかなか分かり辛くて色々なもので調べました。後程ご説明は致しますが、ストーンと心に落ちたようなこともありました。前年度のRI会長のイアンHSライズリー氏は、「ROTARY: MAKING A DIFFERENCE ロータリー: 変化をもたらす」というのをテーマとしました。今年度のRI会長のバリー・ラシン氏は「BE THE INSPIRATION インスピレーションになろう」をテーマとしております。「ロータリーの奉仕は、人びとの人生、そして地域社会を変えるものです。一番大切なのは、前向きな変化を生み出し、私たちが今日直面する課題に勇気と希望、そして創造性をもって正面から立ち向かう意欲を、クラブ、地域社会、そして組織全体から引き出すための「インスピレーション」となる必要があるのです。」と言われてます。私は、励ましになるとか、それを与える人になるとか、素晴らしい思い付きを実行できる人になる、というふうに解釈をしていこうと思っております。それから、この「BE THE INSPIRATION インスピレーションになろう」と言う言葉に、どういうことをやっていくか。一つは活動方針としては、日本全体が高齢化社会、もしくは超高齢化社会になった今、多くのロータリークラブが会員減少、高齢化しております。そのような現実を厳しく踏まえ、組織を変化させ、充実させたいと思っております。指針となるのはCLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)ですが、これによってまずは、運営方針や組織の見直しに取り組んで参りたいと思っております。これは、「shall」ではなく「should」であると言われてます。「shall」とはマッカーサーが言った「I shall return」必ず戻ってくるという意味の表明で、「should」とはそこまでの意思ではない、変えてはいくものだけどと言う言葉のようです。RIはCLPがなされている



ことを前提において、全てを進めていくと言う事ですので、どこかの時点でそれに沿って取り入れなければいけないだろうと考えました。そこでCLPを取り入れ、当然ながら組織の見直し、スリム化、それから活動内容も、会員数やそれぞれの職業が持っている忙しさを考えると、なんでもやれるものでもない。どういうところと連携を結び、どういうことをやっていくか、狭めても広げてもいいと思いますが、少なくとも色々な人が、言わばそれをお互い手伝い合いながらやれるような状態を、作っていった方がいいのではないかと考えています。

この二つを柱として、一つにはずっと言われている「会員増強」があります。このところ亡くなられたり、高齢になって退会されたりとかあり、一方で今日のようにお二人入会されるような状況もあります。何人と言う目標を立てるのではなく、先ず、我々がやっている活動に賛同して下さる方を、いろんな分野の方々から説得し、会員になっていただこうと考えています。それから出席率の向上です。これはずっと言われていることですので、出来るだけ出席率を向上させていきたいと思っています。そして広報活動ですが、これは色々と言われてまして、どういう広報活動をしたらいいのか、RIは、もっとロータリーの活動を皆さんに認識してもらおうと言っています。やっことを皆さんに知っていただくのはいいことかもしれませんが、やったことをみんなが注目してくれて、むしろこれは報道したい、もしくは広げたいというのを、メディア等が持ってくれるような活動をした方がいいのではないかと思います。自然にそれは伝わり、報道する価値があるとメディアの方が考えます。そうするとお願いしなくても、これは報道する価値があると注目してもらえるので、難しいのですが、そういう報道の仕方もあると思い、そういう風に取り組んで行きたいと考えています。私達は長崎西ロータリークラブの奉仕活動を、明るく生き生きと続けていくために、それを支える運営を行っていきたいと思っています。ひとつには世代間の交流の充実です。これは、我々のように年齢の高い世代と、今日入会された方々のように若い世代との、世代間のかい離を出来るだけ縮めていきたいと思っています。年を取った中でも、これまで積み重ねてきた経験だとか、経験の中にあるノウハウだとか、そういうものを利用し、若い人達が活動しやすいような状況を作れるのではと考えています。それと、経費(予算)の有効活用です。それぞれの委員会に予算がついています。それがうまく活用されているのか、もう一度どういうことに使うかと考えていただければと思います。また、会員企業の異業種連携の有効活用が、会員同士の中で出来ればと思っています。最後に寄付の目標ですが、ローター財団への寄付目標 1人 120ドル/年、米山記念奨学への寄付目標 1人 13,000円/年、ニコニコ目標 1,500,000円と例年通りとなります。寄付等は、一回の例会の時に1000円ずつでも積み立てて行けば、目標に到達できる数字ですので、よろしく願いいたします。また、我々だけでなく他クラブと一緒に事業を進めるということも考えられます。広島ロータリークラブが、周年事業で広島と長崎の中間地点に植樹をするというのを発表しました。そういうものも記念事業に出来ると思えば、そういうことに参加させていただくのもありと思います。小さいものを多く集めると大きくなりますので、そういうことを考えて行きたいと思っております。

